

## 平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業実績報告書

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔佐賀県教育委員会〕

1 事業実施期間 平成25年4月23日～平成26年3月25日

## 2 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	鹿島市立西部中学校	20（2）	686
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	鹿島市立鹿島小学校	15（3）	394
	鹿島市立能古見小学校	9（2）	185
	鹿島市立北鹿島小学校	7（1）	192
	鹿島市立明倫小学校	17（2）	453

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

## 3 意識調査（アンケート共通項目）

（％）

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをすることは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	650	60.2	32.5	5.8	1.5	62.9	31.1	5.1	0.9	31.4	52.6	14.8	1.2	23.7	57.4	15.8	3.1
		前年②	623	56.3	36.3	5.1	2.2	57.8	35.0	6.1	1.1	32.6	53.5	12.5	1.4	21.0	58.3	17.7	3.0
		本年①	662	64.0	26.6	6.0	3.3	62.2	31.0	4.4	2.4	34.7	51.5	11.0	2.7	26.7	55.3	14.7	3.3
		本年②	667	62.1	31.0	4.8	3.1	63.3	31.2	3.9	1.6	36.6	51.6	10.5	1.3	25.3	51.1	20.4	3.1
	3	中2①	218	66.1	28.4	4.1	1.4	67.4	28.4	3.2	0.9	32.1	52.8	13.3	1.8	22.0	56.0	18.3	3.7
		中2②	201	65.2	28.4	4.0	2.5	60.2	33.8	4.5	1.5	30.3	55.7	12.9	1.0	20.4	58.2	21.4	0.0
		中3①	216	68.1	23.1	6.9	1.9	65.7	26.9	5.1	2.3	30.6	54.6	11.6	3.2	19.0	63.4	13.4	4.2
		中3②	219	72.1	21.5	4.6	1.8	76.7	19.2	2.7	1.4	40.2	51.1	7.8	0.9	21.9	58.4	17.4	2.3
	2	中1①	224	63.4	29.9	4.9	1.8	62.9	29.0	8.0	0.0	35.7	47.8	15.2	1.3	30.4	57.1	10.7	1.8
		中1②	221	57.0	37.6	3.6	1.8	58.8	33.0	6.3	1.8	30.8	54.8	13.1	1.4	18.6	61.5	15.8	4.1
		中2①	218	53.7	34.9	7.3	4.1	55.5	35.8	6.0	2.8	34.9	47.7	13.8	3.7	19.3	55.0	22.0	3.7
		中2②	221	53.8	38.0	5.0	3.2	56.1	34.4	6.3	3.2	38.0	46.6	14.5	0.9	25.3	44.3	26.2	4.1
	1	小6①	228	55.3	37.3	5.7	1.8	60.5	34.6	4.4	0.4	32.0	53.5	13.6	0.9	42.5	44.3	10.1	3.1
		小6②	227	59.9	30.8	7.9	1.3	70.0	26.0	3.5	0.4	39.6	50.2	9.3	0.9	38.3	49.3	10.1	2.2
		中1①	228	70.2	21.9	3.9	3.9	65.4	30.3	2.2	2.2	38.6	52.2	7.9	1.3	41.2	47.8	8.8	2.2
		中1②	227	60.4	33.5	4.8	1.3	57.3	39.6	2.6	0.4	31.7	56.8	9.3	2.2	28.6	50.7	17.6	3.1
小学校	高学年計	前年①	446	55.4	34.8	7.2	2.7	68.2	26.0	4.9	0.9	35.0	50.9	11.9	2.2	45.5	42.8	8.1	3.6
		前年②	443	55.1	35.2	7.4	2.3	69.5	26.0	3.8	0.7	37.0	50.3	10.6	2.0	38.1	47.9	10.6	3.4
		本年①	435	47.6	35.2	12.9	4.4	59.3	32.0	5.5	3.2	27.4	55.2	14.0	3.4	40.9	45.5	10.8	2.8
		本年②	429	48.7	37.3	9.8	4.2	59.7	32.2	6.8	1.4	35.2	48.0	13.8	3.0	42.7	43.4	12.1	1.9
	6	小5①	218	55.5	32.1	8.7	3.7	76.1	17.0	5.5	1.4	38.1	48.2	10.1	3.7	48.6	41.3	6.0	4.1
		小5②	216	50.0	39.8	6.9	3.2	69.0	25.9	4.2	0.9	34.3	50.5	12.0	3.2	38.0	46.3	10.6	5.1
		小6①	223	55.2	30.5	10.3	4.0	61.0	30.5	5.8	2.7	26.0	54.7	14.8	4.5	41.7	44.8	10.8	2.7
		小6②	220	55.0	32.7	9.1	3.2	63.2	31.8	4.5	0.5	37.3	44.1	15.9	2.7	40.9	45.9	10.5	2.7
	5	小5①	212	39.6	40.1	15.6	4.7	57.5	33.5	5.2	3.8	28.8	55.7	13.2	2.4	40.1	46.2	10.8	2.8
		小5②	209	42.1	42.1	10.5	5.3	56.0	32.5	9.1	2.4	33.0	52.2	11.5	3.3	44.5	40.7	13.9	1.0

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	本年①	662	84.3	10.3	1.4	4.1	79.6	13.0	3.0	4.4	81.7	11.6	2.7	3.9	78.2	14.7	3.0	4.1
		本年②	667	82.0	12.7	2.2	3.0	77.4	15.4	4.2	3.0	82.0	13.2	2.8	1.9	81.0	15.9	1.9	1.2
	3	中3①	216	92.1	2.8	0.5	4.6	88.0	6.5	0.9	4.6	90.3	4.6	0.5	4.6	88.4	6.0	0.9	4.6
		中3②	219	91.3	7.3	0.5	0.9	87.7	8.7	1.8	1.8	91.3	6.4	1.4	0.9	89.0	9.6	0.5	0.9
	2	中2①	218	83.0	11.5	0.5	5.0	74.8	15.1	3.7	6.4	90.3	4.6	0.5	4.6	70.6	18.3	5.0	6.0
		中2②	221	77.4	14.9	4.1	3.6	76.0	17.2	4.1	2.7	79.2	15.4	3.2	2.3	77.8	19.0	1.4	1.8
	1	中1①	228	78.1	16.2	3.1	2.6	76.3	17.1	4.4	2.2	78.1	17.1	2.6	2.2	75.9	19.3	3.1	1.8
		中1②	227	77.5	15.9	2.2	4.4	68.7	20.3	6.6	4.4	75.8	17.6	4.0	2.6	76.2	18.9	4.0	0.9
小学校	高学年計	本年①	435	55.1	35.2	7.4	2.3	69.5	26.0	3.8	0.7	37.0	50.3	10.6	2.0	49.3	32.4	13.4	5.0
		本年②	429	66.4	21.2	7.2	5.1	62.2	24.0	7.2	6.5	70.0	21.5	5.0	3.4	71.3	23.1	3.7	1.9
	6	小6①	223	59.9	30.8	7.9	1.3	70.0	26.0	3.5	0.4	39.6	50.2	9.3	0.9	68.5	8.7	18.1	4.7
		小6②	220	75.0	14.1	6.8	4.1	65.9	24.5	4.1	5.5	76.4	17.3	5.0	1.4	75.9	18.2	3.6	2.3
	5	小5①	212	50.0	39.8	6.9	3.2	69.0	25.9	4.2	0.9	34.3	50.5	12.0	3.2	38.0	46.3	10.6	5.1
		小5②	209	57.4	28.7	7.7	6.2	58.4	23.4	10.5	7.7	63.6	25.8	5.1	5.5	66.5	28.2	3.8	1.4

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

#### 4 課題・目標・取組

課題	分かる授業と良好な人間関係づくりを目指しているが、学習に不安を抱え、居場所がないと感じている児童生徒が多い。
目標	心の居場所のある温かい学級づくりを基盤に、自他の良さを認め、互いに協力して主体的に高め合う児童生徒を育てる。
取組	学び合いを通した分かる喜びのある授業づくりと、自己存在感、自己肯定感を高める学級づくりや学校行事の充実を図る。

#### 5 重点推進事項

小・中共通	① 小・中連携の出前授業の実施とその授業の公開 ② 9年間を見通した指導の重点項目の作成(リーフレット)と家庭や地域への発信 ③ 児童生徒一人一人に居場所や活躍の場がある学校行事の推進
中学校	① 生徒一人一人が1時間や1単元の中で「分かった」「できた」と感じることができる「分かる授業づくり」の実践と、授業研究会の実施 ② 体育大会や文化祭の取組を通して生徒一人一人が自己存在感、自己肯定感を持てる指導と評価の充実を図るための取組の充実
小学校	① 話す・聞くスキルを身に付けさせる取組、基礎学力向上のための国語・算数の「まなびタイム」、学習習慣づくりなどの指導の充実(全校)

## 6 意識調査結果の分析と考察

成 果	成果があがったと考えられる主な理由
<p>① 中学校で、「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業に主体的に取り組んでいる」の3項目について、肯定的に回答した生徒の割合が増加している。</p> <p>② 小学校、中学校ともに、「暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた」児童生徒の割合が減少した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全ての児童生徒にとって1時間の授業のねらいや取り組み方が分かるような工夫が施された授業を行えるよう、小・中学校全ての教師同士が、授業のねらいや学習の過程を明確にした授業づくりに取り組むことができたため。</li> <li>・ 個に応じた、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、生徒の学習意欲を高め、主体的に学習する授業づくりに取り組むことができたため（中学校）。</li> <li>・ 「学び合い」や少人数指導を通して、児童が「楽しい」「分かった」と感じることでできる「分かる授業づくり」に取り組むことができたため（全小）。</li> <li>・ 児童生徒一人一人に、居場所や活躍の場がある学校行事の推進を図り、学級や学年の実態に応じて、学級活動や学校行事等の指導内容の重点を明確にし、それらの体験を通して、児童生徒一人一人が自己存在感、自己肯定感を持てる指導と評価の充実を図ることができたため。</li> </ul>

課 題	課題として残ったと考えられる主な理由
<p>① 「授業がよく分かる」の項目について、肯定的に回答した児童生徒の割合が、学年が進むにつれて減少している。</p> <p>② 「暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた」児童生徒の割合が増加している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年が進むにつれて学習内容が難しくなり、授業について行けなくなっている児童生徒が増加していることが原因として考えられる。小・中学校ともに、「授業に主体的に取り組んでいる」項目のポイントは改善していることから、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、「学び合い」の取組を更に充実させることが必要であると考えられる。</li> <li>・ 小学5年生から中学1年生までは、被害を受けたと感じる児童生徒の割合が増加していることから、発達の段階にあって、クラス替え等による新しい人間関係のトラブルが生じていることが考えられる。</li> </ul>

## 7 2年間の調査研究の成果と課題

### 〔小・中共通〕

- ① 小・中連携の出前授業の実施とその授業の公開
  - 中学校からの出前授業を実施した。出前授業に関わる小・中学校の教師が事前に児童の実態や授業構成について綿密に話し合い、小・中の教師が同じ視点に立って授業ができたことで、中学校に行くのが楽しみになった児童が増えた。
- ② 9年間を見通した指導の重点項目の作成(リーフレット)と家庭や地域への発信
  - 児童生徒の9年間の成長を見通したリーフレット「鹿島っ子の学び」を作成し、全家庭に配付した。基本的な生活習慣・学習習慣の育成を目指し、「挨拶」「時間」「身なり」「責任感・自主自立」「家庭学習」の5項目について小・中で共通理解、共通実践を進めることができた。

③ 児童生徒一人一人に居場所や活躍の場がある学校行事の推進

- 望ましい人間関係づくりの取組として、児童会活動や縦割り班を活用した、集会や遊びなどの活動を通して、学年の枠を超えた繋がりが醸成されつつある。また、地域ボランティアの方との交流を積極的に進めることにより、地域の方にお世話になっていることを改めて認識し、感謝の気持ちをもって人と接することができるようになってきている。
- 行事を推進するにあたって、担当となる児童生徒（実行委員）に負担がかかる。企画・運営の準備にかかる時間の確保が課題である。

〔中学校〕

① 生徒一人一人が 1 時間や 1 単元の中で「分かった」「できた」と感じることができる「分かる授業づくり」の実践と、授業研究会の実施

- 「分かる授業づくり」を展開するために、各教科においてどのように言語活動を取り入れているかを確認した。言語活動の効果的な活用により、生徒が少しでも「分かった」という喜びを感じられるよう、指導法の改善につなげることができた。また、意図的に言語活動を取り入れることで、生徒が個々の学習内容を言葉や図、表やグラフ等で表現し、基礎的な学習内容の確実な習得を目指すことができた。
- 話合いの十分な深まりが見られず、更なる工夫が必要である。話合い等の活動を進めるにあたって、司会や記録などの役割分担を明確にするなど、話合い活動のスキルの習得を行い、更なるレベルアップを目指したい。
- 自分の力でじっくり考えなければならない時に考えることが不十分な生徒が見られることから、支援の方法や学習過程における手立ての工夫が必要である。

② 体育大会や文化祭の取組を通して生徒一人一人が自己存在感、自己肯定感を持つ指導と評価の充実を図るための取組の充実

- 行事の事前の取組として、実行委員や学年生徒会を中心として、学級や学年の話合い活動を実施したことにより、グループの結束や、生徒一人一人の行事参加への意欲を高めることができた。
- 行事ごとに、学年や学級の掲示物に生徒の取組の過程が見られるような工夫を施したことにより、明るく、生き生きとした雰囲気がいじみ出て、学年・学級の一員としての所属感や連帯感をさらに深めることができた。
- 集団で協力し合ったり、助け合ったりする過程でのコミュニケーション能力の向上のために、生徒が主体的に取り組む集団づくりのエクササイズ等の在り方を考え、年間計画を立てて研修を継続していくことが大切である。

〔小学校〕

① 話す・聞くスキルを身に付けさせる取組、基礎学力向上のための国語・算数の「まなびタイム」、学習習慣づくりなどの指導の充実

- 一人一人の学ぶ力を育む授業づくりを工夫した。学習過程にペアやグループでの話合い活動「○○タイム」（○○は小学校ごとによる）を取り入れるようにした。必ず発言することで、根拠をもって自分の考え・立場を明確にすることができるようになった。また、体全体で聞くことや最後まで静かに聞くことができるようになり、共感的、肯定的な態度で聞いたり内容や意図を理解して聞き取ったりする力がついた。クラス全体の中で発言する前に、少人数の中で自分の考えを言うことで、自信を付けることができた。
- 個人的に問題を抱えている児童が多くいる中で、1対1の対応や一斉授業での個の学びを充実させる支援策が不足した。

## 8 取組内容

### (1) 月別実施内容

※「実施状況」の欄は、次の記号で取組内容ごとに示す。

○・・・予定どおり実施

△・・・時期を変更して実施又は実施予定

◇・・・計画書にはないが新たに実施

×・・・実施しなかった

#### <平成24年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	全教職員による共通理解(全小)	○	第1回小・中連絡協議会(小中) 事業説明及び校内組織づくり 第1回連絡協議会(東京)(小中)	○ ○ ○
5月	職員研修(講師招聘) 保護者研修会(講師招聘) 第1回意識調査(全小)	○ △ △	第2回小・中連絡協議会(小中) 第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 職員研修(講師招聘) 第1回意識調査	○ ○ △ △
6月	第1回ICTの利用による交流授業(全小) 市教育長学校視察(鹿島小) 小中合同授業研究会(北鹿島小・明倫小)	△ ○ ◇	市教育長学校視察 「鹿島っ子の学び」の作成【小・中合同】	○ ○
7月	第2回意識調査(全小) 特別支援学級合同校外学習(全小) 中学校からの出前授業(明倫小)	△ ◇ ◇	第2回意識調査 第3回小・中連絡協議会(小・中) 中学校からの出前授業 講師招聘による保護者研修会(小・中)	△ △ ◇ ◇
8月			第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 職員研修会(講師招聘)【小・中合同】	○ ○
9月	運動会を通じた児童会活動の充実(全小)	○	第4回小・中連絡協議会(小中) 体育大会における生徒会活動の充実	○ ○
10月	出前授業(全小)	△	出前授業 西部地区ブロック協議会(米子市) 文化祭における生徒会活動の充実	△ ○ ○
11月	市教育研究大会(能古見小)	○	第5回小・中連絡協議会(小中)	○
12月	第3回意識調査(全小)	○	市教育研究大会(授業参観、取組報告)【小・中合同】 第3回意識調査	○ ○
1月			第6回小・中連絡協議会(小中) 広報・啓発リーフレット作成 新入生入学説明及び部活動見学会	○ △ ○
2月			第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 第2回連絡協議会(東京) 研究紀要作成	○ ○ ○
3月			第7回小・中連絡協議会(小中)	○

#### <平成25年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	・全教職員による共通理解(全小)	○	・第1回小・中連絡協議会【小・中合同】 ・事業説明及び校内組織づくり ・第1回連絡協議会(東京) ・中1ギャップアンケート(第1学年) ・新入生歓迎会を通じた生徒会活動の充実(生徒会)	○ ○ ○ △ ○
5月	・第1回意識調査(全小) ・ICTの利用による交流授業(全小)	○ ○	・第2回小・中連絡協議会【小・中合同】 ・第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小・中合同】 ・第1回意識調査(全学年) ・中1・小6担任等による小・中連絡会 ・旅行的・宿泊的行事の企画・運営を通じた生徒の活動の充実(全学年・実行委員会)	○ ○ ○ ○ ○
6月	・第1回意識調査集計・分析 ・中学校からの出前授業(全小) ・市教育長学校視察(北鹿島小)	○ △ ○	・全教職員合同研修【小・中合同】 ・第1回意識調査の実施、分析と考察 ・小中合同授業研究会【小・中合同】 ・挨拶運動【小・中合同】	○ ○ ○ ◇
7月	・市教育長学校視察(能古見小) ・小中合同授業研究会(全小) ・中学校からの出前授業(全小)	○ ○ △	・第3回小・中連絡協議会【小・中合同】 ・人権・同和集会の企画・運営(生徒会) ・保護者研修会(講師招聘)【小・中合同】 ・中学校からの出前授業 ・小中合同授業研究会【小・中合同】 ・魅力ある学校づくり調査研究事業にかかわる学校訪問【小・中合同】	△ ○ ○ △ ○ ○
8月			・全教職員合同研修【小・中合同】 ・広報・啓発リーフレット作成	○ △
9月	・運動会を通じた児童会活動の充実(全小) ・中学校からの出前授業(北鹿島小・明倫小・函工)	○ △	・第4回小・中連絡協議会【小・中合同】 ・体育大会の企画・運営を通じた生徒会活動の充実(全学年・実行委員会)	○ ○

10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育長学校視察（鹿島小）</li> <li>・市教育研究大会（鹿島小）</li> <li>・中学校からの出前授業（鹿島小：図工）</li> <li>・中学校からの出前授業（北鹿島小：音楽）</li> <li>・中学校からの出前授業（能古見小：国語）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業</li> <li>・西部地区ブロック協議会</li> <li>・小中合同授業研究会【小・中合同】</li> <li>・第2回意識調査の実施、分析と考察</li> <li>・文化祭の企画・運営を通じた生徒会活動の充実（全学年・実行委員会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>△</li> <li>○</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校からの出前授業（北鹿島小：音楽）</li> <li>・中学校からの出前授業（能古見小：国語）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育研究大会【小・中合同】</li> <li>・第5回小・中連絡協議会【小・中合同】</li> <li>・生徒会役員改選を通じた生徒会活動の充実（全学年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回意識調査の実施、分析と考察（全小）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和集会の企画・運営（全学年・実行委員会）</li> <li>・第3回意識調査の実施、分析と考察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>×</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校からの出前授業（能古見小・鹿島小：音楽）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回小・中連絡協議会【小・中合同】</li> <li>・小中合同授業研究会【小・中合同】</li> <li>・研究紀要作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>×</li> <li>△</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本調査研究事業のまとめ（全小）</li> <li>・中学校からの出前授業（鹿島小：音楽）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小・中合同】</li> <li>・第2回連絡協議会（東京）</li> <li>・新入生入学説明及び部活動見学会</li> <li>・本調査研究事業のまとめ</li> <li>・第7回小・中連絡協議会【小・中合同】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
3月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中1・小6担任等による小・中連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> </ul>

## （2）重点推進事項の実施状況

### 〔小・中共通〕

#### ① 小・中連携の出前授業の実施とその授業の公開

6年生の図工、音楽、国語の授業において、中学校の教科担当による出前授業を行った。児童は、吸い込まれるように話に集中し、とても楽しんで授業に臨むことができ、中学校進学への期待を持つことができた。また、小・中の教師が事前の綿密な打ち合わせの中で、児童の特徴や指導上の留意点を話し合った。出前授業の公開を行い、事後に指導上の工夫について協議することで、小・中の系統立てた指導体制づくりの契機となった。



#### ② 9年間を見通した指導の重点項目の作成(リーフレット)と家庭や地域への発信

校区内で9年間を見通した基礎的・基本的な学習・生活習慣の育成のために、「挨拶」「時間」「身なり」「責任感・自主自立」「家庭学習」の5項目について、学校と地域で連携し、身につけさせたいことを示し、「鹿島っ子の学び」として全家庭に配付した。リーフレットを活用することで、小・中の教師だけでなく、地域や家庭とも連携して児童生徒の育成を図ることへの共通理解を図ることができた。



#### ③ 児童生徒一人一人に居場所や活躍の場がある学校行事の推進

各校では、体育大会・運動会、文化祭などの行事の際に、生徒会や児童会が中心となり、実行委員会形式での行事の計画・運営を行った。児童生徒一人一人に活躍の場があり、振り返りの時間で互いの頑張りを認め合うことができるように工夫を凝らした。また、明倫小学校での明倫まつりでは、中学生の作品を展示したり、吹奏楽部による出張演奏会を行ったりした。中学校での活動の成果を小学校で発表する機会を設け、小学生や地域の方から高評価を得たことで、中学生の活動の場が広がり、意欲の向上にもつながった。



## 〔中学校〕

- ① 生徒一人一人が1時間や1単元の中で「分かった」「できた」と感じることができる「分かる授業づくり」の実践と、授業研究会の実施

研究授業を実施するにあたって、教材の工夫や開発、言語活動を取り入れた指導法改善などについて研究を行った。このとき、主な言語活動やICTの利活用について分かるように指導案に記載すること、めあてと評価を明確にすることなどについて共通理解を図り、指導に当たることとした。研究授業を行う際には、授業観察表を使用し、参観者が授業を見る視点を明確にして参観できるようにした。視点を明確にすることによって、研究授業後の研修の深まりを目指すとともに、全職員が「分かる授業づくり」のために共通理解を図る機会となるよう、この観察表を活用することにした。

- ② 体育大会や文化祭の取組を通して生徒一人一人が自己存在感、自己肯定感を持つ指導と評価の充実を図るための取組の充実

体育大会や、文化祭では「取組をすることにより、学級や学年という集団で、協力することの大切さを学び、連帯意識を高める」ことを目的の一つとして行っている。学芸委員長を実行委員長として、各学級から選出した2名の実行委員とともに、実行委員会を組織し、活動を行った。



実行委員を責任者として、学級や学年の話合い活動を行わせ、活動計画に従って、活動後の評価活動を毎日行わせることで、生徒が課題意識をもって主体的に取り組み、集団が集団の力として結集した時の喜びや感動を味わうことができた。

## 〔小学校〕

- ① 話す・聞くスキルを身に付けさせる取組、基礎学力向上のための国語・算数の「まなびタイム」、学習習慣づくりなどの指導の充実

一人一人の学ぶ力を育む授業づくりを工夫した。学習過程にペアやグループでの話合い活動「〇〇タイム」（〇〇は小学校ごとによる）を取り入れるようにした。必ず発言することで、根拠をもって自分の考え・立場を明確にすることができるようになった。また、体全体で聞くことや最後まで静かに聞くことができるようになり、共感的、肯定的な態度で聞いたり内容や意図を理解して聞き取ったりする力がついた。クラス全体の中で発言する前に、少人数の中で自分の考えを言うことで、自信を付けることができた。



また、学習習慣づくりの一環として、授業や集会の始めと終わりに立腰を取り入れ、静かな雰囲気の中で落ち着いて授業に入ることができた。立腰の掲示物も4小学校で統一して掲示することができた。



## 9 事業担当者の活動

### (1) 活動内容

実施要項の該当箇所		活 動 内 容
4 (1) 事業全般		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の実施に関する各種調整や事務処理</li> <li>・ 小中間、小小間の連絡調整</li> </ul>
4 (2)	小・中連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中の教職員合同による研修会の企画運営</li> <li>・ 小中連絡協議会のコーディネート</li> <li>・ 授業交流と情報交換</li> </ul>
	小・小連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同一視点に立った学習習慣づくり、生活習慣づくりのための打合せ会設定</li> <li>・ 授業交流と情報交換</li> </ul>
4 (3) データ収集、分析等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種アンケートの内容検討</li> <li>・ 各種データの分析</li> </ul>
4 (4) 取組の評価		取組評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例を通しての効果測定</li> </ul>
4 (5) 資料作成、広報等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿島市教育研究大会での発表</li> <li>・ 研究紀要、リーフレット作成</li> <li>・ 啓発資料等作成</li> </ul>

### (2) 事業推進上の成果と課題

#### <成果>

- ・ 小・中職員が共通の意識をもち、児童生徒の実態について共通理解を図ることで様々な取組を円滑に進めることができた。

#### <課題>

- ・ 多忙感と時間不足の解消と、きめ細かな小・中連携を可能とする組織作り。

## 10 教育委員会の取組

### (1) 市町村教育委員会

#### [重点推進事項]

- ・ 市教育研究大会にて事業の成果発表
- ・ 各種会議等にて取組を紹介

#### [課題と成果]

- 市内全小中学校教師の約3分の1の参加による市教育研究大会を開催した。その場で事業の成果を周知することができた。
- 校種間・学校間の教師の交流の機会が増え、有意義な情報交換ができた。
- ICT機器を導入し、それを活用した小小連携のあり方を探ることができた。
- 小小連携の重要性を周知したことから、小小連携の取組が市内のもう一つの中学校校区に広がった。
- 2年間の事業の成果をもとに、今後継続していくことと改善していくことを整理し、実践していけるよう支援していく。

### (2) 都道府県教育委員会

#### [重点推進事項]

- ・ 研究成果の県内への発表、紹介
- ・ 鹿島市教育委員会との連携及び適時的支援



〔課題と成果〕

- 不登校対策専任者会、不登校対策に係る関係中学校連絡協議会、中学校校長会等の各種会議の場において、本地区の取組を紹介した。
- 研究推進に対して、具体的な指導・助言等が十分でなかった。
- 本事業の成果を生かした取組の継続に対する指導・支援を行う。

## 11 「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

### (1) 構成

所属	人数	備考（主な職名等）
佐賀県教育庁学校教育課	1	指導主事
西部教育事務所	1	指導主事
鹿島市教育委員会	3	教育長、指導主事
鹿島市立西部中学校	4	校長、事業担当者、教務主任、教育相談担当
鹿島市立鹿島小学校	3	校長、事業担当者、教務主任
鹿島市立能古見小学校	3	校長、事業担当者、教務主任
鹿島市立北鹿島小学校	3	校長、事業担当者、教務主任
鹿島市立明倫小学校	3	校長、事業担当者、教務主任
宮崎大学	1	教授
西部中学校PTA	1	PTA会長
地域代表	1	西部中学校前学校評議員

### (2) 事業推進上の成果と課題

#### <成果>

- ・ 委員として大学教授や地域代表、保護者代表を選任した。大学教授からは高い見地からご指導をいただいた。地域代表からは、他の地域の情報や学校外から見た児童生徒の様子、保護者の要望等をお聞かせいただき、たいへん参考になった。

#### <課題>

- ・ 管理職の強いリーダーシップを引き出すことができなかった。小中5校の連携を図るためには、担当者だけの会議よりも委員会としての会議の回数をもっと増やすことが必要であった。

## 12 作成資料等

### <平成24年度>

- リーフレット
- 研究紀要

### <平成25年度>

- リーフレット
- 研究紀要

### 13 関連URL

鹿島市立西部中学校 <http://cms.saga-ed.jp/hp/seibu-kashima-j>  
鹿島市立鹿島小学校 <http://cms.saga-ed.jp/hp/kashima-e>  
鹿島市立能古見小学校 <http://cms.saga-ed.jp/hp/nogomi-e>  
鹿島市立北鹿島小学校 <http://cms.saga-ed.jp/hp/kitakashima-e>  
鹿島市立明倫小学校 <http://cms.saga-ed.jp/hp/meirin-e>

#### 【問い合わせ先】

所属	佐賀県教育庁学校教育課			電話	0952-25-7363	
職名	指導主事	氏名	吉岡 浩一	よみがな	よしおかこういち	